

## 福岡県建設技術協会柳川支部現場見学会の報告

柳川支部 今村輝幸

日 時:平成20年11月6日

場 所:福岡県大牟田市、久留米市、佐賀県鳥栖市

参加者:33名(県会員17名 市町村会員及び職員16名)

見学箇所:

- ◎新幹線 軌道スラブ(大牟田工場)制作見学  
鳥栖軌道スラブ制作運搬工事(興和・極東JV)
- ◎都市計画街路事業 東合川野伏間線 現場見学  
福岡県久留米土木事務所、JR九大線のアンダーパス
- ◎九州新幹線 スラブ軌道工事等 現場見学  
独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構鳥栖軌道建設所

福建柳川支部では、柳川土木事務所管内市町の柳川土木協会と共催で現場見学会及び技術研修会を年に3回程開催しているところです。現場見学参加者については、柳川土木事務所職員を始め柳川市、大川市、みやま市、大木町職員の多数の参加を頂きました。

現場見学については、まず九州新幹線の軌道スラブ制作工場を見学しました。軌道スラブの制作工程について説明を受け、特に夏期冬期でのコンクリート品質管理の説明を詳細にして頂きました。また、35箇月(約3年契約)で軌道スラブを15000枚制作とのことで、国土交通省でも話題になっている単品スライド条項のお話を聞かせて頂きました。現在、発注機関と協議中とのことでした。

次に、久留米土木事務所事業進めてある都市計画道路事業、久留米外環状道路東合川野伏間線について久留米土木事務所の担当者より説明を頂きました。久留米市街部の外側に環状道路を形成する延長約6.5kmの道路で、地域経済の発展や交通混雑の緩和に大きな役割を果たすことが期待されています。現場はJR九大線のアンダーパス、市道の立体交差材料豊富な現場見学しました。施工工程について詳細な説明を伺いました。

最後に独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構鳥栖軌道建設所の所長より九州新幹線博多・新八代間の軌道工事概要の説明を受けました。特徴としては、福岡佐賀県境の筑紫トンネル11.9kmの縦断勾配が急勾配であるそうです。最高設計速度が260km/hであるのに対しては、車両走行試験で安全性の確認を行い、設計速度以上の速度も可能であるとのことでした。現場では25mレールをつき合わせてガスバーナーで圧着しているところを見学しました。普通なら見ることでできない施設等を見学することで、貴重な知識を得ることができました。

以上、平成20年度柳川支部現場見学会の報告でした。今回業務多忙の中、現場見学の機会を与えてくださり、多くの方にご協力いただき本当にありがとうございました。

◎新幹線軌道スラブ制作(大牟田工場)では、工期が35箇月で 15,509 枚の軌道スラッグの制作。  
制作工程、品質管理の説明を受けました。

概要説明状況



コンクリート打設後に蒸気養生を行います



◎都市計画街路事業 東合川野伏間線 現場見学  
福岡県久留米土木事務所、JR九大線のアンダーパス

JR九大線アンダーパス



市道交差道路



◎九州新幹線 スラブ軌道工事等 現場見学

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構鳥栖軌道建設所

新鳥栖(仮称)駅建設現場

筑紫トンネル 11.935km



参考までに

博多～新八代間 工事延長 121.1km

設置駅 博多駅(既設)、新鳥栖(仮称)駅、久留米駅、船小屋駅、新大牟田(仮称)駅  
新玉名(仮称)駅、熊本駅、新八代駅(既設)

最高設計速度 260km/h

最小曲線半径 4,000m

最急勾配 35‰

構造別延長 切取・盛土 6km(5%)

橋梁 17km(14%)

高架橋 61km(51%)

トンネル 37km(30%)

